

第9回 山口市中心市街地活性化協議会(要約)

1. 日 時 平成20年2月6日(水)19:15～21:30
2. 場 所 山口商工会議所 5階コミュニティホール
3. 出席者 構成員15名、オブザーバー4名、その他5名、事務局3名
以上27名
4. 内 容

【報告事項】

1. 中心市街地活性化基本計画の進捗状況について

山口市担当者より、資料に基づき、中心市街地活性化基本計画事業(26事業)の進捗状況について説明があった。

平成19年12月1日に開催した中心市街地活性化シンポジウムについては、入場者数約120名あった。山口市中心市街地情報提供事業については、平成19年11月30日にホームページ「やまぐち逸町」を開設。今年度中に中心市街地の情報や魅力を掲載したパンフレットを作成する予定。まちと文化推進事業については、今年度8月～9月に県立美術館主催のミュージアム・タウン・ヤマグチ 2007「HEART2007」への補助金交付を実施し、来年度については、連続レクチャー事業、まちなかイベント事業、インフォメーション事業の3つを企画する。山口市市民交通計画については、平成20年1月1日～1月31日の期間、市内幹線道路の活性化実証実験を実施した。

【協議事項】

1. 各専門部会の報告について

(1) 第1専門部会

中村第1専門部会長より部会の協議状況及び提案事業について別添資料に基づき報告。これまで3回部会を開催し、来る2月29日に協議会を構成するメンバーを対象としたセミナーを実施したいこと、来年度、全市民を対象として中心市街地活性化基本計画に関連したクイズの実施による市民啓発が提案された。中心市街地活性化のエリア全体に関連するセミナーにしたい。

(2) 第2専門部会

内山第2専門部会長欠席のため事務局より協議状況及び提案事業について別添資料に基づき報告。これまで2回部会を開催し、基本計画エリア内の空家調査、高齢者の街なか居住支援のためのモデル調査、街なか居住対策やファンド事業に関する先進地視察について、それぞれの提案事業の実施主体を示しながら説明。

(3) 第3専門部会

吉富第3専門部会長欠席のため吉松副部会長より協議状況及び提案事業について別添資料に基づき報告。これまで4回部会を開催し、道場門前商店街が現在最初の1時間半

を100円で駐車できるサービスを実施しており、中市、米屋町両商店街も合わせられないかということ、商店街広報誌「もっちゃき！」作成への参加、商店街人材バンク、商店街の中を自由に使用できる買物カートの共通化等について報告。

(4)第4専門部会

藤井第4専門部会長欠席のため事務局より協議状況について別添資料に基づき報告。これまで3回部会を開催し、JR山口駅周辺の活性化について意見を出してもらったことの報告。

〔決定事項〕

中心市街地活性化セミナーの開催については、委員の意見により内容を修正して実施することが全員一致で承認され、開催に向けて準備を行う事になった。

山口市と商工会議所で協議して、全般的な方針等の問題点について当協議会に提出して協議していく。事業の在り方についても次回協議する。

各部会の報告、提案に対する主な意見は、次の通り。

山口市中心市街地活性化協議会は年間10万円程度の活動費しか無いが、必要経費はどのように捻出するのか。

山口市として取り組むべき事業もあるのではないか。

当協議会は事業を実施する機関なのか。

当協議会の役割と目的が不明確な気がする。部会が実施主体になるような部分はあると思うが、第1専門部会のクイズに関しては山口市が費用負担するかしないかの問題ではないか。

協議会であるので、セミナーや講習会など勉強する場は必要と思われる。

2月29日開催予定のセミナーについてのみ今回判断し、あとは各専門部会へ差し戻してはどうか。

事業主体となり得る構成員と事業主体となり得ない構成員では協議会において内容の理解に温度差がある。商店街全体をモールとして捉え、商工会議所としてもまち全体をどうしたら良いか検討したい。交通体系については、商工会議所としても検討中であり、次回協議会で進捗状況を報告できればと思う。1月21日の交通の日については、ある程度の渋滞緩和に繋がったと聞いている。

セミナーの実施については、当協議会が主体となって実施する許容範囲内と思われる。

西郷氏には、東西の核というものを除いて、モール全体、まち全体について基本計画を通じて話をしてもらいたいと考えている。山崎氏には、中心市街地活性化協議会自体のあり方について話してもらおう予定。参加者との意見交換時間がどの程度取れるかは未定。

セミナーの周知は、各構成団体の事務局から個別にメンバー宛に発信してもらっては

どうか。そのほうが連絡が早いのではないか。

セミナーでは、山口市中心商店街をテーマにするような内容ではなく、先生方が取り組まれている高松、川越や鳥取での事例について話してもらいたい。

以上